

初任総合教育第1期の卒業式を挙行了しました



今般、今年度新たに県下消防本部に採用された消防職員の教育訓練である、初任総合教育課程の卒業式を挙行了しました。

4月6日に始まった教育訓練は、関係各位のご協力により11月30日無事に終了し、10消防本部51名が卒業しました。

本校では、新消防学校を整備したことに伴い、今年度から初任教育の内容を改め、従来の教育内容（119日間の基礎的な教育訓練）に救急科課程（救急隊員の資格を取得できる38日間の専門的な教育訓練）を併せた8箇月間の「初任総合教育」課程として実施しました。

卒業した51名の学生は、初任総合教育第1期生として、8箇月間の厳しい教育訓練を一致団結して乗り越え、晴れて卒業の日を迎えました。職員一同、県民の安心・安全の確保のため、大いに活躍することを期待しています。



卒業証書授与



校長式辞



総代による「決意の表明」



女性初の最優秀賞・優秀賞を受けた学生